

## 臨床研究に関するお知らせ (0996)

### 【研究課題名】

食事形態の違いとジゴキシンの薬物動態変動に関する調査研究

### 【内容】

ジゴキシンは血液中の濃度の有効域と中毒域が接近しており、血液中の濃度を測定したうえで投与量に厳密な管理が必要な薬剤の一つです。これまでに我々が行った実験動物を用いた研究で、一部の栄養剤で飼育した動物のジゴキシンの血液中の濃度推移が他の飼料で飼育したものと異なることがわかりました。

このことから、ヒトにおいても食事形態の違いや栄養素の違いがジゴキシンの血液中の濃度推移に影響を与える可能性が考えられたため、それらを明らかにすることを目的として調査研究を実施します。

### 【対象】

2006年1月から2010年12月の期間中に、一度でもジゴキシンの血中濃度が測定されたことのある方が対象となります。

### 【方法】

カルテ情報の調査を行い、食事内容とジゴキシンの血中濃度、投与量の関係を調査します。

参加を希望されない場合には、2011年7月31日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。

2011年1月

金沢大学附属病院薬剤部

研究実施責任者 崔 吉道

電話 076-265-2046 (直通)